

## 企業概要

|      |                 |
|------|-----------------|
| 所在地  | 小山市城東2-32-17    |
| 設立   | 1985年10月        |
| 事業内容 | 合成樹脂の再生加工販売     |
| 従業員数 | 130人（平成24年4月現在） |
| 代表者  | 代表取締役社長 古澤 栄一   |



“限りある資源を次世代に残す”という理念のもと、国内初のペットボトルのメカニカルリサイクルシステムを構築し、環境に配慮した容器包装技術が評価され、2011年日本パッケージングコンテストで経済産業省産業技術環境局長賞を受賞した協栄産業株式会社を紹介します。

### ◆事業内容についてお聞かせください。

使用済みペットボトルをはじめとした廃プラスチックのリサイクル事業を行っております。

### ◆メカニカルリサイクルの特色や活用法についてお教えください。

特殊技術による徹底的な洗浄と、真空・高温下での再縮合重合反応技術によって、樹脂の中に入り組んだ不純物を物理的・化学的に極限まで除去します。通常リサイクルの過程で樹脂の性質が劣化しますが、当社が開発したこの新技術によって、樹脂本来の性質を回復させることが出来、バージン樹脂と同等の再生樹脂品質を実現しました。

昨年5月、サントリーが当社の再生樹脂を50%使用したペットボトルの販売を開始、今年4月には「石油原料ゼロ」の100%再生ペットボトルを実現しました。食品容器原料として高い安全基準を求める先進国における取組みとしては、世界で初めて実現した資源循環の事例といわれています。

飲料用ボトルにも使用可能な高純度で高品質なこの再生樹脂は、様々な分野での有効利用が期待されています。卵パックや衣料製品などのこれまでのリサイクル製品群に加え、化粧品容器や超薄膜フィルムなど、更に高い品質を求める用途での利用が見込まれています。



### ◆障害者雇用で知事表彰を受けておられますが実情等についてお聞かせください。

会社名「協栄」が表すように色々な人の協力があり会社は栄える「協存・協生」を第一と考えています。これは障害者であっても同じです。共に汗を流し、やり遂げる喜びを日々感じて欲しいと願っています。

現在3名の障害者が10年以上勤務しており、日々の仕事の他にも遠地事業所への研修旅行や社内レクリエーション等にも参加しています。会社が障害者雇用積極的に取り組む姿勢が職員にも浸透してきており、日頃からの声掛けや困ったときに親身に相談を受ける職員がいることで長続きしていると思います。

### ◆社会貢献活動等についてお聞かせください。

リサイクルの重要性を多くの方に知って頂くため、「環境に優しいマラソン大会」をテーマとする湘南国際マラソンに環境ボランティアを派遣しています。3万人を超えるランナー・来場者にゴミ分別の方法をアドバイスすると共に、会場で回収したペットボトルを自社工場でリサイクルすることで、環境負荷を減らす活動をしています。

また、地球環境活動の将来を担う高校生の自発的なエコアクションを応援する「全国高校生エコアクション・プロジェクト（後援：環境省）」に協賛しています。学生が自ら学び・考え・チャレンジする経験が何にも変えがたい未来の地球の財産になって欲しいと願っております。

### ◆今後の抱負をお聞かせください。

我が国は石油資源を海外からの輸入に頼っています。私共は単一素材で単品での回収が可能な使用済みペットボトルを石油に替わる資源「都市油田」と位置付け、リサイクルすることで石油資源の利用抑制と低炭素社会の実現に貢献していきたいと考えています。

お話：代表取締役社長 古澤 栄一氏

【取材：小山労政事務所】